

**平成28年度
「シティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）」
構想検討会**

**第1回検討会
2016年6月24日**

場所：中央合同庁舎 4号館 12階 1208特別会議室

目次

1. コンテンツ検討のアプローチ
2. コンテンツ（展示情報）の具体例
3. コンテンツ（展示手法）の具体例
4. 展示手法事例

1. コンテンツ検討のアプローチ

コンテンツ検討の位置づけ

本検討会におけるコンテンツ検討は概要検討とし、その検討内容は構想書に反映されるものである。実際のコンテンツの詳細企画・設計は、事業主体の決定後に、同事業主体が担当する。



コンテンツ検討

- コンテンツ（展示情報）の概要検討
- コンテンツ（展示手法）の概要検討

本日の
検討項目

本検討は、シティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）には、「どのような情報」が展示されるか、また、その情報は、「どのような手法」で展示されるかということの概要を検討するものである。（本検討会内でコンテンツの詳細を決定するものではない。）

検討内容が構想書に反映される

構想書

構想が事業主体に引き継がれる



コンテンツ企画・設計

- コンテンツ（展示情報）の詳細企画・設計
- コンテンツ（展示手法）の詳細企画・設計

構想書の内容を踏まえ、実際に設置されるシティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）のコンテンツの企画・設計は、事業主体が担当する。

コンテンツ検討のアプローチ

具体的なコンテンツ検討のアプローチを下記に示す。はじめに、コンテンツの訴求対象の共通イメージを持つために、ターゲットの来場者像を設定するとともに、ゴールイメージとして各来場者に与えたい感情を整理する。次に、各来場者が知りたい情報のニーズを整理し、それに応える情報の中身を整理する。最後に、それら情報を来場者に伝えるための最適な展示の手法を検討する。

来場者別ゴールイメージ整理

ターゲットの 来場者像設定



展示を訴求するターゲットのイメージを共有するために、具体的な人物像を設定する



ゴールイメージ（来場者に 与えたい感情）の整理



シティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）の来場者に与えたい感情を整理する

ゴールイメージを踏まえて、
必要なコンテンツを検討する

コンテンツ（展示の情報と手法）の検討

来場者のニーズの整理



来場者が知りたい情報のニーズを整理する



訴求すべき 情報の整理



来場者のニーズから訴求すべき情報の中身を整理する



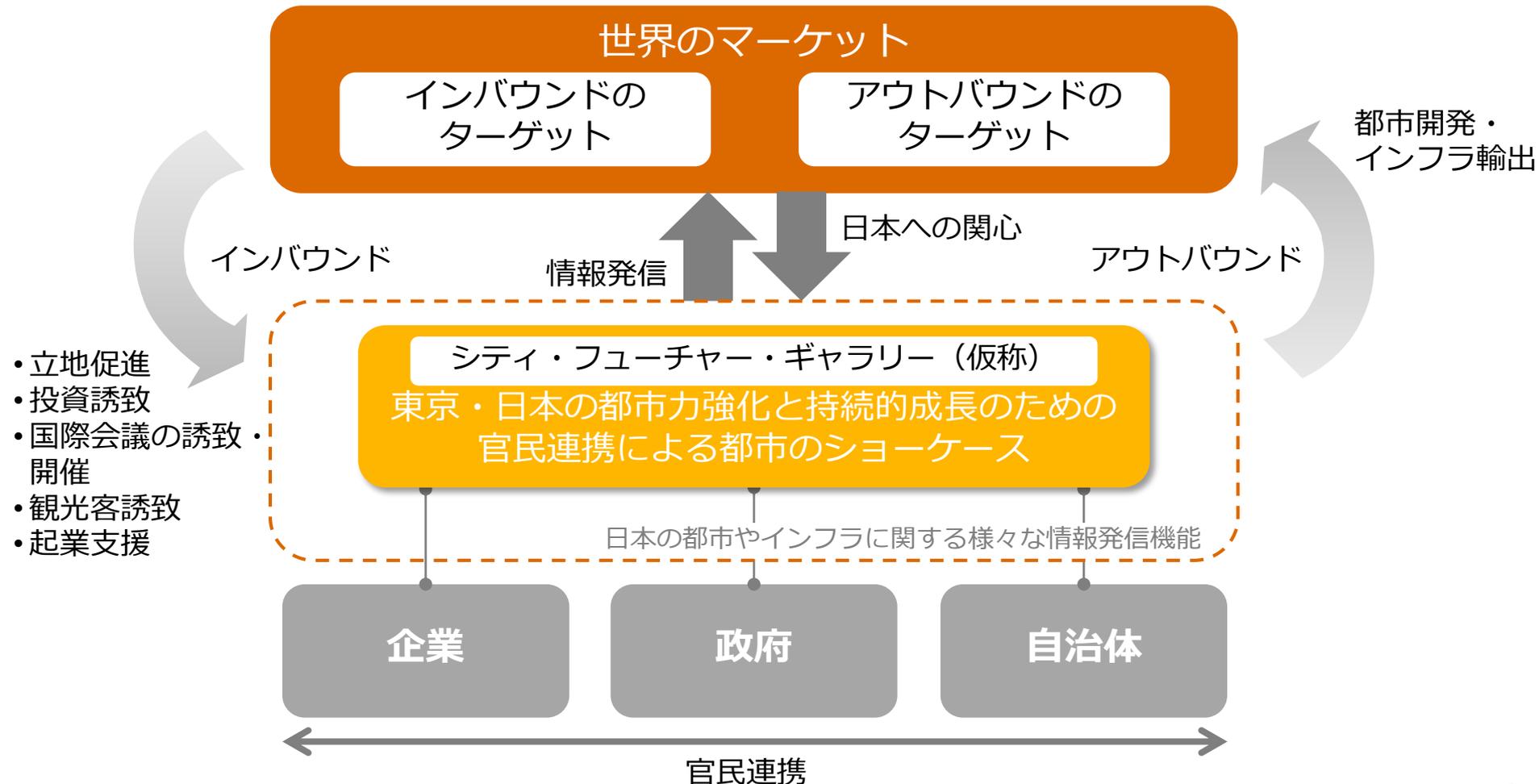
展示手法の 検討



情報の中身を最適に伝えることのできる手法を検討する

シティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）の目的

政府・自治体・企業の連携による都市のショーケースを通じて、東京をはじめとする日本の都市の魅力を発信し、企業立地や人材を呼び込むと同時に、企業の都市・インフラ輸出を促進し、日本の都市力強化と持続的成長を実現する。



来場者別ゴールイメージ整理

訴求すべき対象を共有するために、下記のように例としてターゲットの来場者像を設定し、それぞれの来場者ごとに与えたい感情を整理する。

ビジネスを目的としたターゲット

来場者像 (例)

インバウンド (ビジネス客)

例)

- アジアの都市に立地を検討している外資企業のビジネスエグゼクティブ

アウトバウンド (政府・企業関係者)

例)

- 自国の都市開発を担当しているアジアの政府・企業関係者

インバウンド・その他 (観光客、学生等)

例)

- オリンピックを目的とした来日観光客
- 街づくりを学習する子供 など

ゴールイメージ (来場者に与えたい感情)

- 東京（日本）に進出したい。
- 東京（日本）にオフィスを構えたい。
- デベロッパー等と具体的に会話し、各拠点についてもう少し詳しく知りたい。

等

- 東京（日本）の都市はお手本になる。
- 日本の企業に自国の開発を手伝ってもらいたい。
- 日本の技術を持っている企業と会話してみたい。

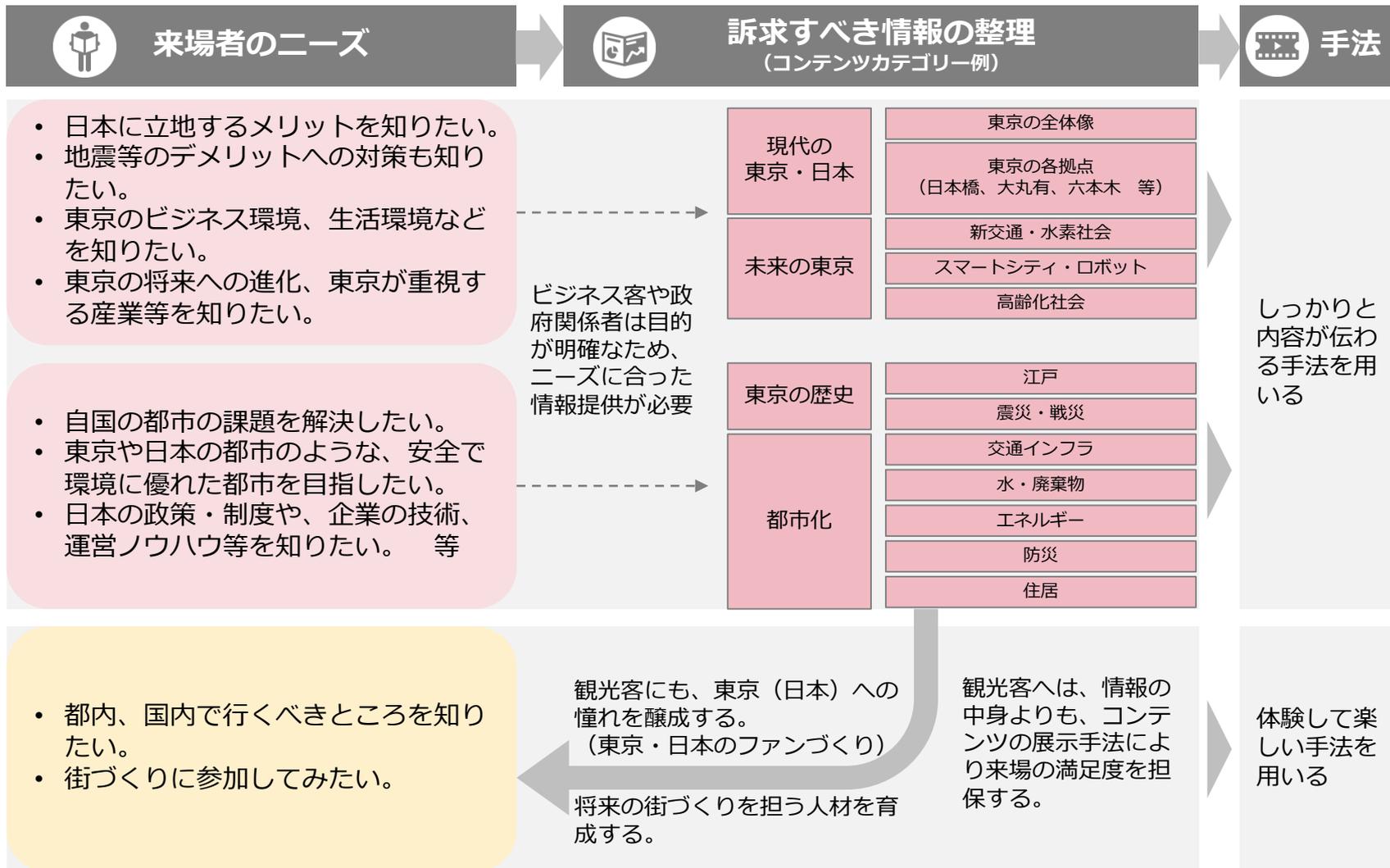
等

- 来て楽しかったので、また日本に来たい。地方にも行ってみたい。
- 東京や日本が好きになった、働いてみたい。
- 日本のようなインフラや都市が自国にも欲しい。
- 東京の街づくりに興味を持った。

等

来場者のニーズと訴求すべき情報の整理

来場者のニーズから訴求すべき情報を整理する。インバウンドのビジネス客やアウトバウンドの政府関係者は、自身の使命があるためニーズが明確であり、そのニーズに的確に応える情報を示す必要がある。観光客は将来の潜在顧客にもなり、学生等は将来の街づくりを担う人材にもなるため、日本の都市への憧れや街づくりへの興味を醸成することが重要である。



展示手法の整理

展示手法は下記のように分類でき、各手法にはそれぞれ特徴がある。シティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）では、ターゲットや展示する情報に合わせて最適な手法を用いる必要がある。

展示の手法（媒体）

体験型（双方向）・楽しむコンテンツ向け

- 体験して楽しい手法
- 情報の正確な理解よりも、感動や印象を強く持たせるのに有効な手法

ワークショップ

都市模型

実物展示
(乗り物等)

- 体験して楽しい手法
- 情報の正確な理解よりも、感動や印象を強く持たせるのに有効な手法
- 集客の目玉になり得る手法

プロジェクション
マッピング

プロジェクション
マッピング付き
都市模型

VR (AR)
端末

タッチパネル
モニター

ロボットガイド

スマホ連動
インスタレーション

アナログ
(固定的情報)

デジタル
(可変的信息)

印刷パネル

実物展示
(古地図等)

プロジェクター
投影

デジタル
サイネージ

- じっくりと見て理解するのに適する手法
- 更新が頻繁には無い情報の展示に有効な手法

- 静止画にも、動画にも対応できる手法
- 情報の更新が容易。時間で変化させる等、少ない面積で多くの情報を示せる手法

閲覧型（一方向）・学ぶコンテンツ向け

都市を説明するための要素

文章

数字

図

写真

動画

立体物

サイトギャラリーとの連携（ハブ・ネットワーク機能）

東京に設置するシティ・フューチャー・ギャラリー（仮称）では、全国各地の先進的なまちづくりのショーケースの概要展示（インデックス）を実施し、東京を含む全国の街区に存在するサイトギャラリーをネットワークする。

また、ビジネスにつなげる観点から、本施設で東京の概要や全体像を示した後、各企業の所有する関連施設で、より詳細な自社の取組を説明するなど、ハブ的な機能を持たせることで、各企業の関連施設との差別化を図りながら連携の相乗効果を狙う。

各地のサイトギャラリーとのネットワーク

他の関連施設

民間企業が持つ展示施設、研究施設、実際のインフラ等の設置場所等と連携し、一体的な展示を実現

民間企業の関連展示施設

ビジネスに繋げる

民間企業の関連研究施設

関連の博物館等
(例：江戸東京博物館)

関連の観光施設
(例：都庁展望台等)

⋮

東京
(ハブ機能)

シティ・フュー
チャー・ギャラ
リー（仮称）

サイトギャラリー等
の概要展示

- 全国のサイトギャラリーや、他の展示施設を結ぶハブ機能も備える
- シティ・フューチャー・ギャラリーの中で、仮想的に各サイトギャラリーを体感できる等の工夫をして、各サイトへの興味を喚起する。

東京を含む全国の実際の街区

リアルな「まち」において先進的なシステムや技術を活用し、未来型のまちづくりを行っている場の創造（徒歩で体感）

実際の街区
バリアフリー
(ロボット支援等)

実際の街区
省エネ・再エネ
(水素タウン、CEMS等)

実際の街区
次世代交通
(自動運転・小型モビリティ等)

実際の街区
エリアマネジメント
(高齢者の快適空間等)

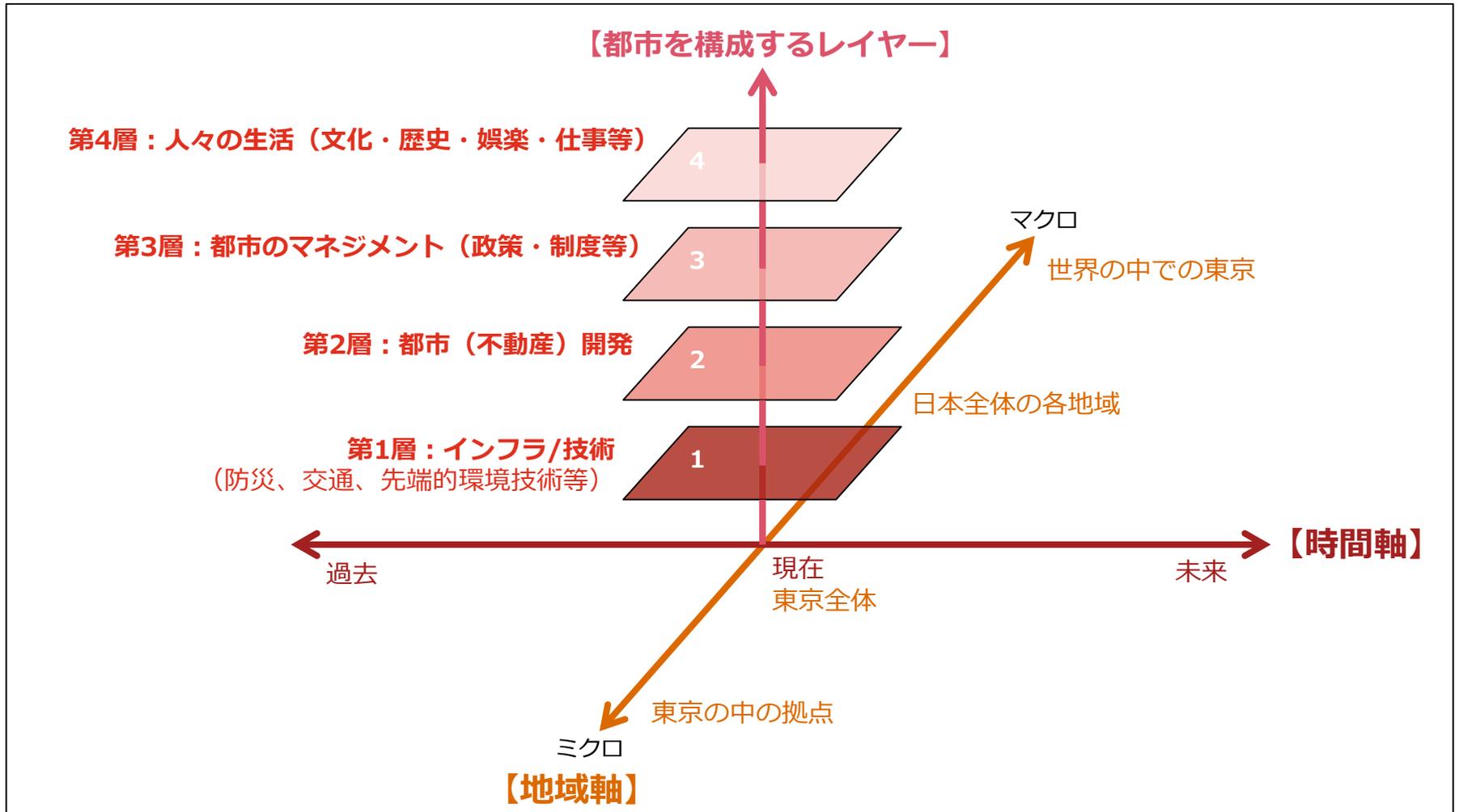
⋮

2. コンテンツ（展示情報）の具体例

コンテンツの整理軸

本施設では以下の3つの軸により、コンテンツの全体像を構成し、都市を様々な角度から包括的に示すものとする。

コンテンツの全体像イメージ



訴求すべき情報の整理

来場者のニーズから整理された訴求すべき情報の例を、コンテンツの整理軸によって重み付けする。

訴求すべき情報 (例)		時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
		過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
東京の歴史	江戸	○			○	○	○			○		○
	震災・戦災	○			○	○	○			○		○
都市化	インフラ-総合-	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	交通インフラ	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	水・廃棄物	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	エネルギー	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	防災	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	住居	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	都市-総合-	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現代の東京・日本	新宿	△	○	○	○			○	○	○	△	○
	渋谷	△	○	○	○			○	○	○	△	○
	池袋	△	○	○	○			○	○	○	△	○
	六本木・虎の門	△	○	○	○			○	○	○	△	○
	大丸有	△	○	○	○			○	○	○	△	○
	日本橋	△	○	○	○			○	○	○	△	○
	品川・田町	△	○	○	○			○	○	○	△	○
	臨海部	△	○	○	○	○			○	○	△	○
	多摩	△	○	○	○	○		○	○	○	△	○
	未来の東京	○	△	○	○	○	○		○	△	△	○
スマートシティ・ロボット		△	○	○	○	○		○	△	△	○	
高齢化社会		△	○	○	○	○		○	△	△	○	

コンテンツ概要検討（参考ゾーニングプラン：Aタイプ1階）

展示すべきコンテンツを具体的にイメージし、検討を深化するため、下記に参考ゾーニングプランを記載する。
 （※下記はあくまでも参考のゾーニングプランであり、本施設はこの通り設計されるものではない。）

CONTENTS 01 プロローグ（導入）

展示のコンセプトや目的、挨拶等を掲示。頭出しとして現在の華々しい東京の断片を印象的に見せインパクトを与える。



CONTENTS 02 東京の歴史（江戸）

一気に時代を遡り、首都東京の始まりである江戸時代について紹介。日本の歴史に関する興味を充足する。



CONTENTS 03 東京の歴史（震災・戦災）

東京が幾度となく破壊と復興を繰り返してきたことを紹介。関東大震災や東京大空襲など、現代の東京の出発点を示す。



CONTENTS 04 都市化（インフラ総合）

都市化の歴史を総合的な視点で見せる。都市基盤のインフラの整備が現代の暮らしを支えていることを訴求する。



外溝空間 オープンテラス等

カフェと一体となったオープンテラスや、イスやテーブルが配置されたオープンコミュニティスペースを設置する。



カフェ カフェ

休憩、飲食ができるカフェ。展示空間のチケットを買わなくても利用できる。



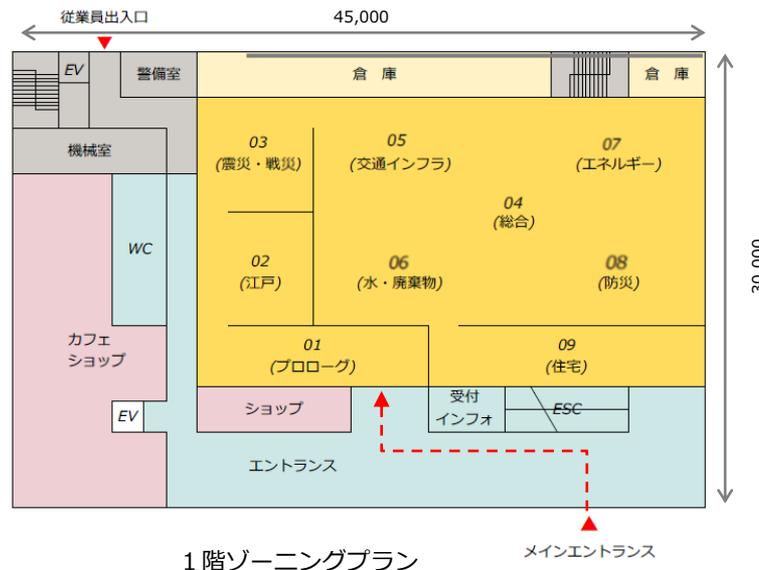
ショップ ギャラリーショップ

都市に関するグッズや書籍等を販売する店舗。展示空間のチケットを買わなくても入場できる。



エントランス 受付・案内センター等

チケット販売及び、各種案内に対応。各サイトギャラリーへ送客するコンシェルジュを配置する。

CONTENTS 05 都市化（交通インフラ）

自動車交通の普及による交通渋滞を経て、鉄道交通の整備がなされ、沿線開発で宅地も整備されてきたTODの歴史を示す。



CONTENTS 06 都市化（水・廃棄物）

都市化に伴う公害を克服してきた歴史を見せる。上下水の整備、治水対策や高度な廃棄物処理、分別、リサイクル等を訴求。



CONTENTS 07 都市化（エネルギー）

電気、ガス、熱等のユーティリティの安定性、環境性能などの高さを示す。



CONTENTS 09 都市化（住居）

日本の住宅、住生活に関する特徴を示す。伝統的な和の空間から、現代の暮らしまで、様々な角度で住空間を説明する。



CONTENTS 08 都市化（防災）

地震対策を中心に、建築技術等のハードと避難対策のソフトの両面で防災対策を示し、外国人が抱く懸念を払拭する。



コンテンツ概要検討（参考ゾーニングプラン：Aタイプ2階）

展示すべきコンテンツを具体的にイメージし、検討を深化するため、下記に参考ゾーニングプランを記載する。
 （※下記はあくまでも参考のゾーニングプランであり、本施設はこの通り設計されるものではない。）

CONTENTS 10 現代の都市（総合）

東京の中心部の都市模型を縮尺1/1000で再現



CONTENTS 11 新宿エリア

新宿エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 12 渋谷エリア

渋谷エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 13 池袋エリア

池袋エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 23 企画展示室

定期的に変更する企画展を開催



CONTENTS 22 高齢化社会

超高齢社会を世界に先駆けて克服した、先進的な課題解決モデルを紹介



CONTENTS 21 スマートシティ・ロボット

サステナブルで先進的なIoTの普及したスマートシティや、ロボットと共生する未来の都市の暮らしを紹介。



CONTENTS 20 新交通・水素社会

東京の未来図として、水素自動車や、新型モビリティ、新交通システムなどを紹介



CONTENTS 19 多摩エリア

多摩エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 18 臨海部エリア

臨海部エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 14 六本木・虎の門エリア

六本木・虎の門エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 15 大丸有エリア

大丸有エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



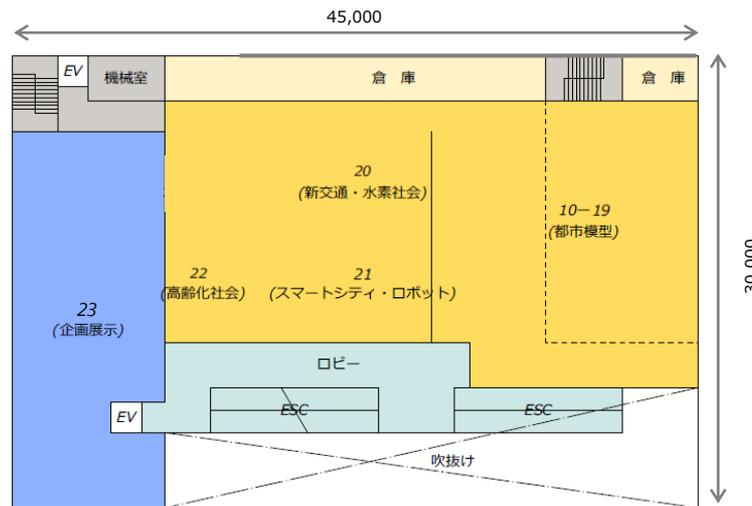
CONTENTS 16 日本橋エリア

日本橋エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 17 品川・田町エリア

品川・田町エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。

2階ゾーニングプラン

- ・ フロア全体にサイトギャラリーへのインデックス機能を配置する
- ・ フロアの一角に、その立地に関連する紹介コーナーのエリアを設ける

コンテンツ概要検討（参考ゾーニングプラン：Aタイプ3階）

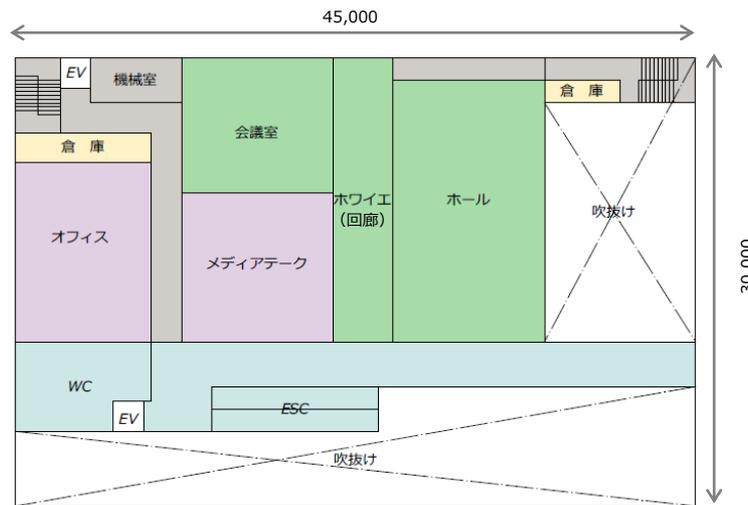
展示すべきコンテンツを具体的にイメージし、検討を深化するため、下記に参考ゾーニングプランを記載する。
 （※下記はあくまでも参考のゾーニングプランであり、本施設はこの通り設計されるものではない。）

事務室	オフィスラボ
	スタッフの事務所

情報資料室	メディアテーク
	資料やデータ等が閲覧できる情報資料室

ホール	プレゼンホール
	ある程度、大人数のセミナーや講演、イベント等が開催できるホール

会議室	多目的会議室
	企業の商談や、打ち合わせ等が実施できる会議室 ワークショップ等も開催可能なスペース

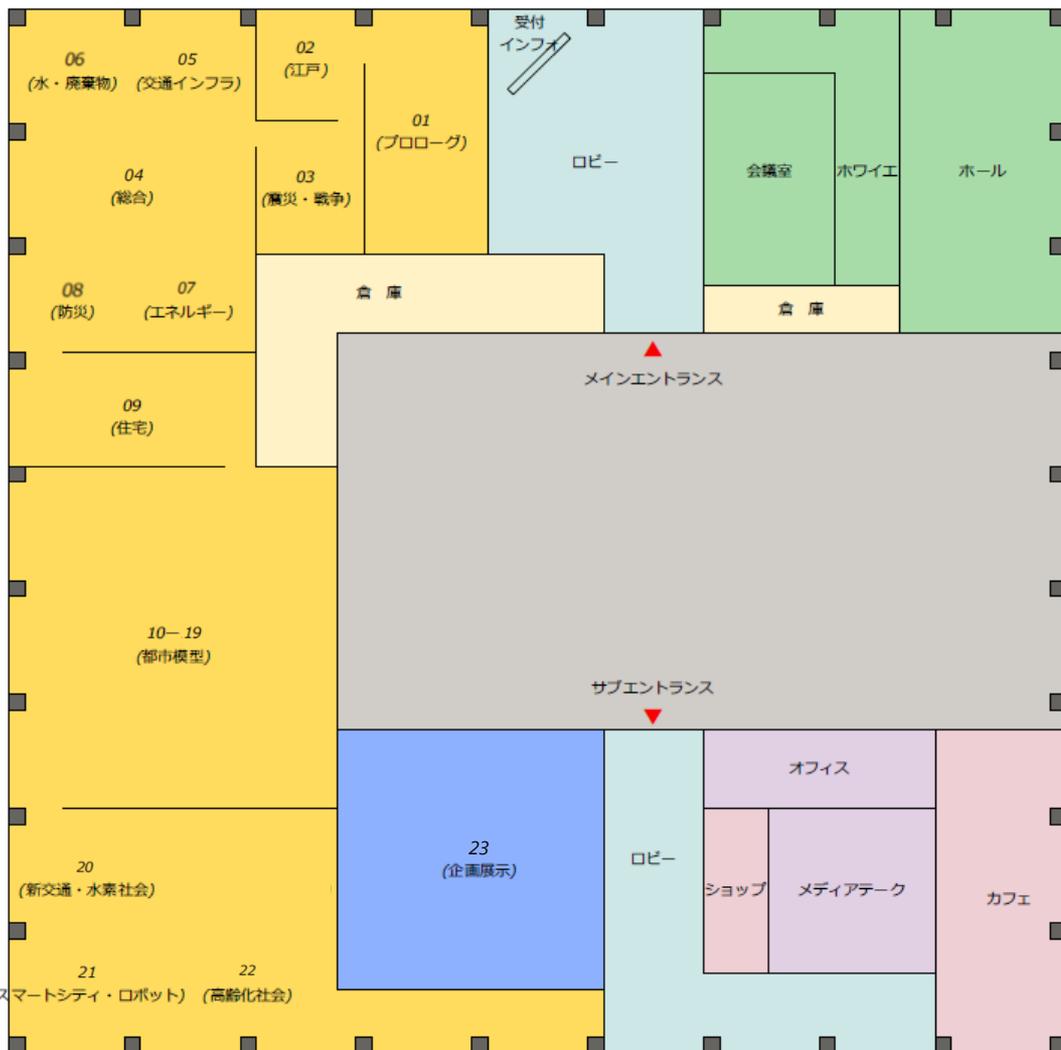


3階ゾーニングプラン

プレゼンホールやメディアテーク等は、都民や区民等の市民が利用できるものとし、開かれた施設とすることが考えられる、

コンテンツ概要検討（参考ゾーニングプラン：Bタイプ）

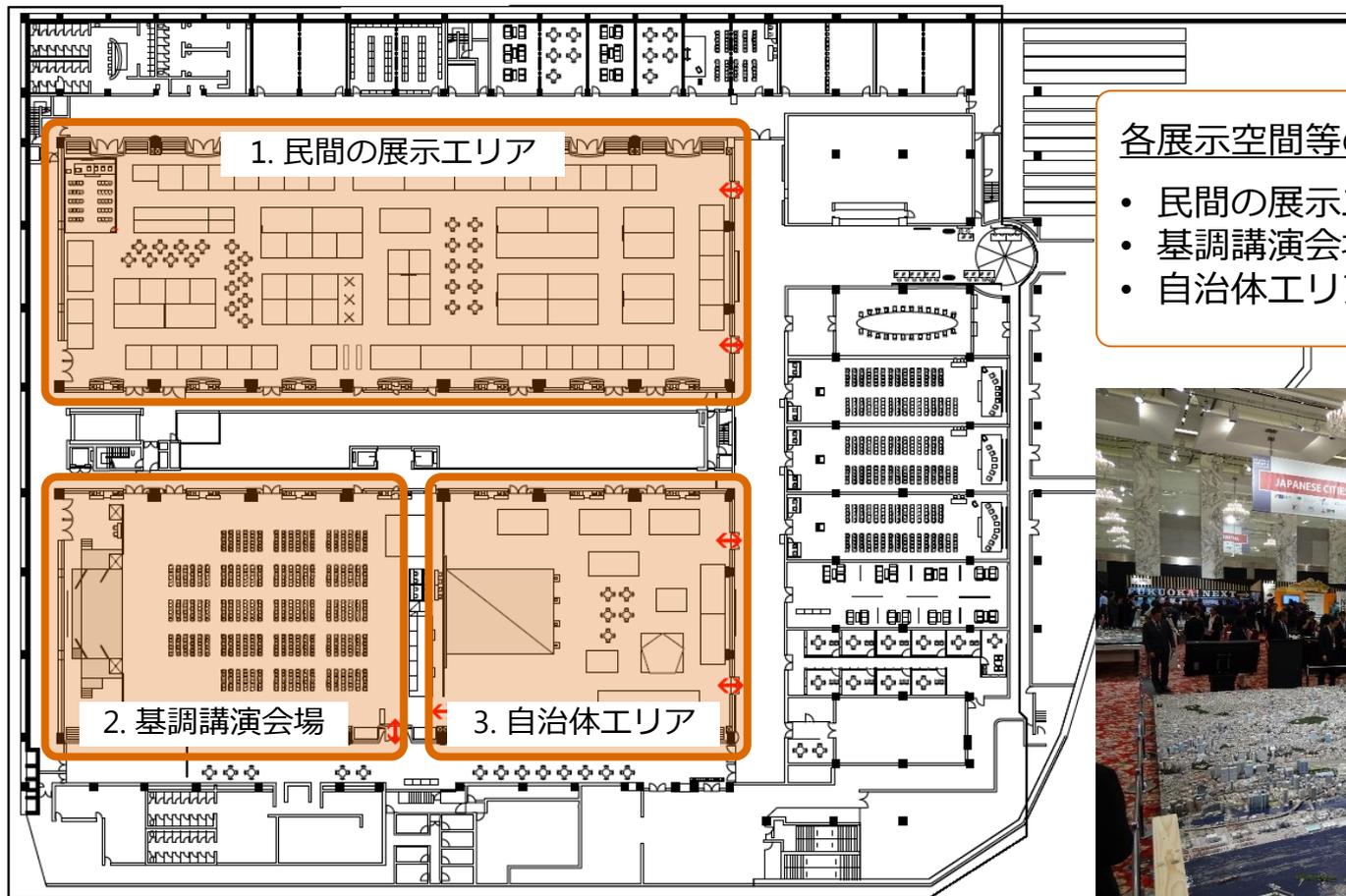
展示すべきコンテンツを具体的にイメージし、検討を深化するため、下記に参考ゾーニングプランを記載する。
（※下記はあくまでも参考のゾーニングプランであり、本施設はこの通り設計されるものではない。）



展示ゾーン・カンファレンスゾーン・カフェゾーンを明確に分離
展示スペースは一筆書きでの動線を原則とするが
展示内容の変更等にフレキシブルに対応するため
間仕切り等は可動式のもので計画することが望ましい
展示用備品を収納する倉庫を展示スペースの近傍に設ける
企画展示は常設展示とを经ずにアクセスが可能な配置を行う
既存ビルの入居基準に従った計画となるため、一定の規制が生じる
Ex. 空間の制限があるため、展示内容に高さ制限等が生じる
厨房容量次第では業態に制限が掛かる
設備は本体側で整備されているため、原則、貸床を自由に計画できる

面積規模の参考

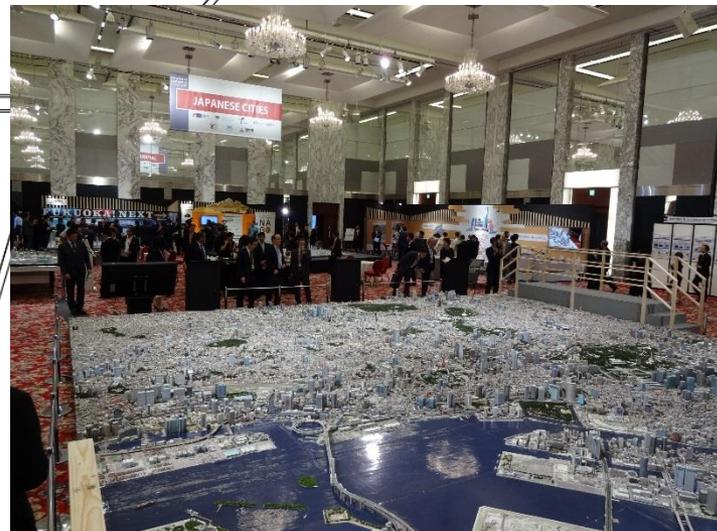
展示エリアの面積規模の参考として、2015年5月に東京で開催されたMIPIM JAPANの展示空間のレイアウト図と写真を示す。



会場場所：ザ・プリンス パークタワー東京

各展示空間等の面積

- 民間の展示エリア: 2,394^m²
- 基調講演会場: 1,368^m²
- 自治体エリア: 1,026^m²



自治体エリアの様子

コンテンツイメージ01：プロローグ（導入）

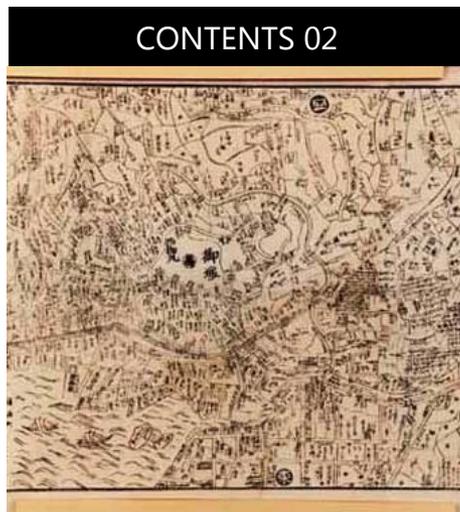
来館の挨拶、展示のコンセプトや目的等を掲示。展示空間の最初の空間として、進化し続ける東京の現在の姿を印象的に見せ、その先の展示への期待感を喚起する。

CONTENTS 01			コンテンツ整理											
			時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
			過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
				○	○		○	○	○		○	○	○	○
			来場者に最初にインパクトを与えるコンテンツとして、現在進行形で進化する東京の活性化したイメージを伝える。			東京を中心として、日本の都市を見せる施設であることを説明する。世界との関係も示す。				東京でいきいきと暮らす人々の生活を中心に見せ、住んでみたい、働いてみたい街という印象を与える。				

情報の内容			関連施設例
大分類	中分類	小分類	
プロローグ（導入）	挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 主催者からの挨拶、来館者への謝辞等 	なし
	コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 施設の目的・楽しみ方 展示の趣旨説明 東京の現在から未来へのビジョン提示等 	

コンテンツイメージ02：東京の歴史（江戸）

時代を遡り、首都東京の始まりである江戸時代について紹介。日本の歴史に関する興味を充足する。



CONTENTS 02

コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
◎			○	◎	○			○		◎
江戸時代を中心に東京の過去の歴史を見せる。			東京（江戸）だけでなく、当時の日本全体の様子にも触れる。				江戸時代の人々の生活を見せるとともに、江戸の町並みを都市開発の観点から見せる。			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
東京の歴史（江戸）	江戸の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 江戸の暮らしとはどのようなものだったのか <ul style="list-style-type: none"> 江戸庶民の暮らし 江戸の文化 江戸の職人（大工等）等
	江戸の町並み	<ul style="list-style-type: none"> 江戸の町並みはどのようなものだったのか <ul style="list-style-type: none"> 江戸の都市構造 江戸の城下町 等

関連施設例

本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- 江戸東京博物館（東京都墨田区）
- 江戸東京たてもの園（東京都小金井）
- 竹中大工道具館（兵庫県神戸市）等

コンテンツイメージ03：東京の歴史（震災・戦災）

東京が破壊と復興を繰り返してきたことを紹介。関東大震災や東京大空襲など、現代の東京の出発点を示す。

CONTENTS 03



コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
◎			○	◎	○			○		◎
<p>明治から昭和初期までの東京の過去の歴史を見せる。</p>			<p>東京を中心に関東大震災や、戦災の様子を見せる。</p>				<p>人々の生活を中心に、当時の町並みや、震災、戦災の爪痕などを説明する。</p>			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
東京の歴史 (震災・戦災)	震災の説明	<ul style="list-style-type: none"> 関東大震災の被害はどのような状況だったのか どうやって東京は震災から復興したのか
	戦災の説明	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦・東京大空襲はどのような状況だったのか どうやって東京は戦災から復興したのか

関連施設例

本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- 平和祈念展示資料館（東京都新宿区）等

コンテンツイメージ04：都市化（インフラ-総合-）

都市化の歴史を総合的な視点で見せる。都市基盤のインフラの整備が現代の暮らしを支えていることを訴求する。

CONTENTS 04



コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
◎	○	□	□	◎	○	○	◎	○	○	○
主に過去から現在に至るまでの都市化の発展プロセスを、分野横断的に示す。			東京を中心としながらも、日本全体の取組を紹介する。				都市基盤のインフラが連携しながら、人々の生活を改善してきたことを総合的に見せる。			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
都市化 (インフラ-総合-)	各インフラの発展により支えられて進化した都市開発の変遷	<ul style="list-style-type: none"> 東京はどのように費用を捻出し、環境にやさしく、便利で、安全な都市インフラを整備してきたのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ インフラ整備の優先順位 ➢ 投資対効果 ➢ 各インフラの相互連携の仕組み

関連施設例

なし

コンテンツイメージ05：交通インフラ

都市化による交通渋滞の経験を経て、東京が作り上げきた世界有数の公共交通網の発達した都市の交通インフラの歴史を示す。



CONTENTS 05

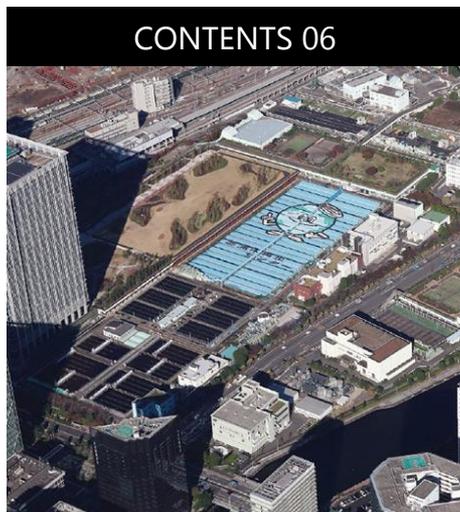
コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
○	○			○	○	○	○	○	○	○	
主に過去から現在に至るまでの交通インフラの発展プロセスを示す			東京の中だけでなく、東京と首都圏や日本全体との繋がりを示しながら東京の交通ネットワークを示す				主にインフラ・技術面を的確に示しながらも、不動産開発との関連、政策・制度面、駅ナカやICカード利用などの人々の生活面も総合的に説明する。				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
都市化 (交通インフラ)	鉄道交通	<ul style="list-style-type: none"> なぜ日本の鉄道会社は黒字経営できるのか <ul style="list-style-type: none"> 宅地開発と一体となった沿線開発 駅まち一体開発（地下街・駅ビル等） 買い物もできるIC乗車券 なぜ東京都民は鉄道を利用するのか <ul style="list-style-type: none"> 安全と定時制を守る高度な車両技術と運営 徒歩と鉄道でどこでも行ける環状鉄道と環状線内をカバーする地下鉄網
	自動車交通	<ul style="list-style-type: none"> どうやって東京は交通渋滞を減らし、青空を保っているのか <ul style="list-style-type: none"> 高速道路網の整備、三環状道路 クリーンな自動車車両技術

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道博物館（埼玉県さいたま市） 電車とバスの博物館（川崎市宮前区）等

コンテンツイメージ06：水・廃棄物

都市化に伴う公害を克服してきた歴史を見せる。上下水の整備、治水対策や高度な廃棄物処理、分別、リサイクル等を訴求する。



CONTENTS 06

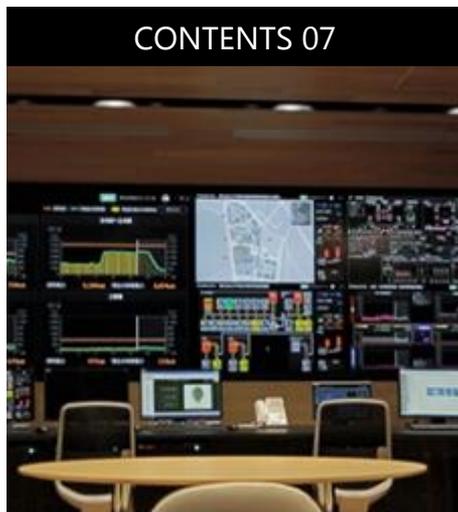
コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
主に過去から現在に至るまでの水・廃棄物処理等の発展プロセスを示す。			東京を中心としながらも、日本全体の取組を紹介する。				主にインフラ・技術面を的確に示しながらも、人々の生活の変化等を含め、政策・制度なども包括的に説明する。				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
都市化 (水・廃棄物)	水	<ul style="list-style-type: none"> なぜ日本では誰もがきれいな水を飲めるのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 優れた上水技術 ➢ 料金徴収の仕組み なぜ日本の川は汚れていないのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 汚染を防ぐクリーンな下水処理 街の安全を守る治水技術
	廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> なぜ焼却場を住宅街に近接して設置できるのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ クリーンな廃棄物処理技術 ➢ 分別・リサイクルの取組

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都水道歴史館（東京都文京区） 首都圏外郭放水路（埼玉県春日部市）

コンテンツイメージ07：エネルギー

電気、ガス、熱等のユーティリティの安定性、環境性能などの高さを示す。



CONTENTS 07

コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
○	○			○	○	○	○	○	○	○
主に過去から現在に至るまでの電気・ガス・熱等の発展プロセスを示す。			東京を中心としながらも、日本全体の取組を紹介する。				主にインフラ・技術面を的確に示しながらも、人々の生活の変化等を含め、政策・制度なども包括的に説明する。			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
都市化 (エネルギー)	電気・ガス・熱 等	<ul style="list-style-type: none"> なぜ東京都では24時間安定して電気やガスを使用できるのか なぜ地震が起きても停電や火事を最小限に防ぐことができるのか どのように地域単位で効率的な冷暖房を運営することができるのか

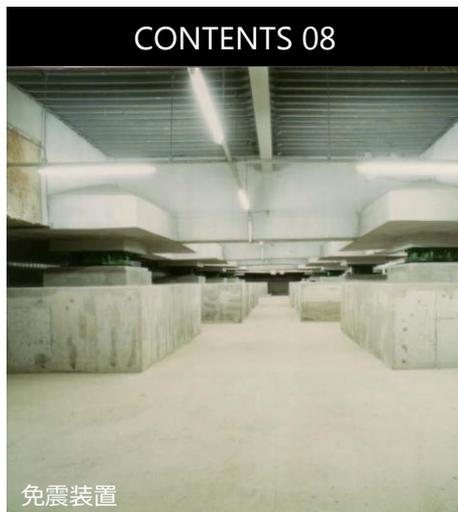
関連施設例

本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- 電気の資料館（横浜市鶴見区）
- がすてなーに ガスの科学館（東京都江東区）
- 新宿地域冷暖房センター（東京都新宿区）
- 東京スカイツリー地区熱供給（東京都墨田区）
- 箱崎地区熱供給センター（東京都中央区）

コンテンツイメージ08：防災

地震対策を中心に、建築技術等のハードと避難等のソフトの両面で防災対策を示し、外国人が抱く懸念を払拭する。



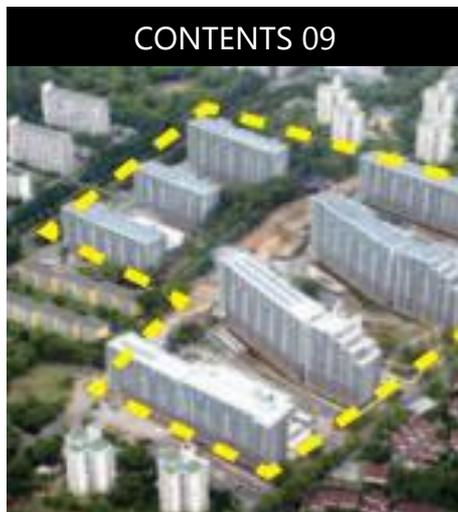
コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
○	○			○	○	○	○	○	○	○	
<p>繰り返し災害を経験しながら発展してきた防災のノウハウを示す。</p>			<p>東京を中心としながらも、日本全体の取組を紹介する。</p>				<p>主にインフラ・技術面を的確に示しながらも、人々の生活の変化等を含め、政策・制度なども包括的に説明する。</p>				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
都市化（防災）	ハード技術	<ul style="list-style-type: none"> なぜ東京は東日本大震災でも大きな被害を出さずに済んだのか <ul style="list-style-type: none"> 地震対策等の建築技術（耐震・免震・制震技術） 震災被害軽減の道路整備 など
	ソフト施策	<ul style="list-style-type: none"> なぜ東京では災害時にも、これだけ多くの人々が混乱なく対処できるのか <ul style="list-style-type: none"> 防災・減災の取組 自助・公助・共助の取組 BCP対策 など

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京消防庁本所防災館（東京都墨田区） 清水建設技術研究所（東京都江東区）等

コンテンツイメージ09：住居

日本の住宅、住生活に関する特徴を示す。伝統的な和の空間から、現代の暮らしまで、様々な角度で住空間を説明する。



CONTENTS 09

コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
◎	○	□	□	◎	○	○	○	◎	○	○
主に過去から現在に至るまでの住生活の発展プロセスを示す。			東京を中心としながらも、日本全体の取組を紹介する。				主にインフラ・技術面的に示しながらも、人々の生活の変化等を含め、政策・制度なども包括的に説明する。			

情報の内容

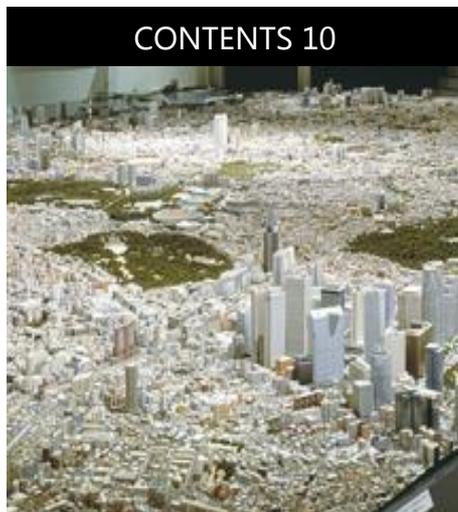
大分類	中分類	小分類
都市化（住居）	住宅政策	<ul style="list-style-type: none"> どのように東京はこれだけ多くの人口を収容することができたのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ ニュータウン開発 ➢ 区画整理手法 など
	戸建／集合住宅	<ul style="list-style-type: none"> どうして東京の住宅はコンパクトなのに住みやすいのか どうして東京の不動産価値は高いのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 間取りの変遷 ➢ 住生活様式の変遷 ➢ 建築技術、構造、設備の変遷 など

関連施設例

- 本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。
- UR都市機構集合住宅歴史館（東京都八王子市）

コンテンツイメージ10：現代の都市（都市開発-総合-）

現代から未来に向けた東京の都市を総合的に見せる。（例：中心部の都市模型を縮尺1/1000で再現）



CONTENTS 10

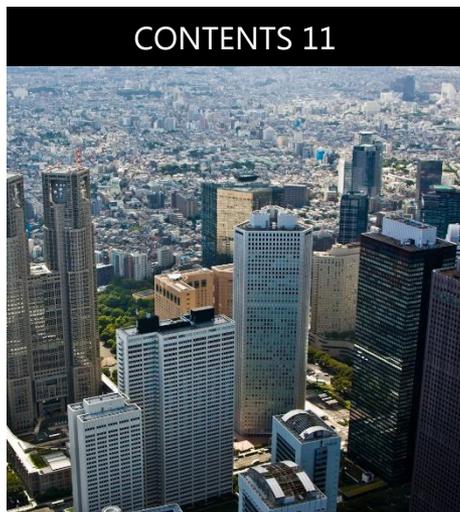
コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
△	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	
現代の東京の姿を中心に、未来図にも触れながら東京全体を説明。			東京を中心としながらも、日本全体の取組を紹介する。				主にインフラ・技術面を的確に示しながらも、人々の生活の変化等を含め、政策・制度なども包括的に説明する。				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
現代の都市（総合）	<ul style="list-style-type: none"> 東京の全体像 現代～未来の東京 	<ul style="list-style-type: none"> 世界一の都市人口を誇り、高密度な都市である東京の全体像はどうなっているのか 常に進化し続ける東京の現在、未来像はどのような姿なのか なぜ東京には多様な特徴のある拠点があるのか 東京都市圏との連携とは <ul style="list-style-type: none"> 各拠点の位置関係 都市の交通網（道路、線路など） 地下ネットワーク 都市の水路網 都市の緑（公園・庭園）など

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都庁展望台（東京都新宿区） 東京スカイツリー展望台（東京都墨田区） 六本木ヒルズ展望台（東京都港区）など

コンテンツイメージ11：新宿エリア

新宿エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
△	◎	○	◎			○	○	◎	△	◎	
現代の新宿の姿を中心に、未来図にも触れながら新宿エリアを説明。			新宿エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
現代の東京・日本 (新宿エリア)	・ ビジネス街	<ul style="list-style-type: none"> 新宿のビジネス街はどう働きやすいのか ➢ 都庁を含む超高層ビル群 ➢ 人工地盤による立体的な街 など
	・ 商業・繁華街	<ul style="list-style-type: none"> 新宿ではどのように遊べるのか ➢ 東京の大衆文化を楽しめる繁華街 ➢ デパートを中心とした商業空間 など
	・ 交通結節点	<ul style="list-style-type: none"> 新宿の交通利便性とは ➢ 世界一の乗降客数を誇る新宿駅 ➢ バスタ新宿 など

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都庁（東京都新宿区） 新宿区立新宿歴史博物館（東京都新宿区）など

コンテンツイメージ12：渋谷エリア

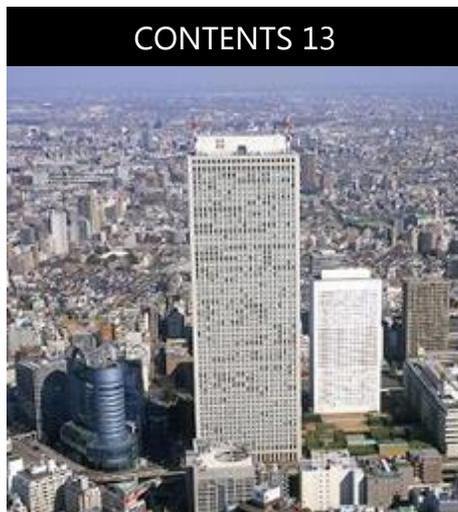
渋谷エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。

CONTENTS 12	コンテンツ整理											
	時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
	過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
	△	○	○	○				○	○	△	○	
	現代の渋谷の姿を中心に、未来図にも触れながら渋谷エリアを説明。			渋谷エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。				

情報の内容			関連施設例
大分類	中分類	小分類	
現代の東京・日本 (渋谷エリア)	渋谷再開発	<ul style="list-style-type: none"> 渋谷は今後どのように発展していくのか <ul style="list-style-type: none"> ➢ 駅前を中心とした渋谷の再開発事業 など 	本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。 <ul style="list-style-type: none"> 渋谷ヒカリエ（東京都渋谷区）など
	生活文化都市	<ul style="list-style-type: none"> 渋谷の文化の特徴は何か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 若者カルチャー ➢ 娯楽・芸術・文化発信拠点 ➢ 表参道の現代建築群 など 	
	ランドスケープ	<ul style="list-style-type: none"> 渋谷にある都市の自然とは何か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高低差のある谷地形 ➢ 渋谷川の再生 ➢ 代々木公園・明治神宮 など 	

コンテンツイメージ13：池袋エリア

池袋エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 13

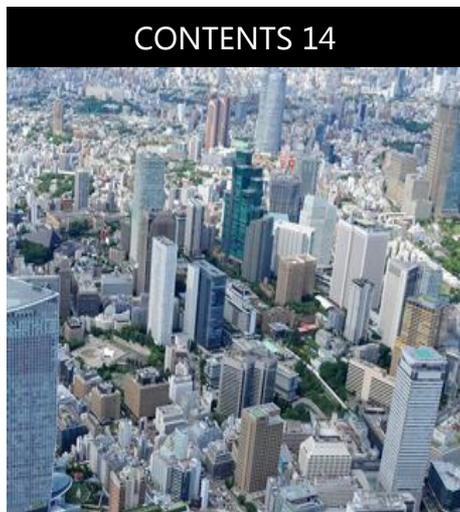
コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
△	◎	○	◎	□	□	○	○	◎	△	◎	
現代の池袋の姿を中心に、未来図にも触れながら池袋エリアを説明。			池袋エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
現代の東京・日本 (池袋エリア)	池袋再開発	<ul style="list-style-type: none"> 池袋は今後どのように発展していくのか ▶ 国際アート・カルチャー都市 など
	豊島区新庁舎整備	<ul style="list-style-type: none"> 区の一般税源からの支出なしでの建設とは ▶ 分譲マンションとの複合ビル ▶ 旧庁舎跡地の民間活用 など
	池袋の文化	<ul style="list-style-type: none"> 池袋の多様な文化の魅力とは ▶ 劇場文化 ▶ アニメ文化 など

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> サンシャインシティ展望台 (東京都豊島区) など

コンテンツイメージ14：六本木・虎の門エリア

六本木・虎の門エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 14

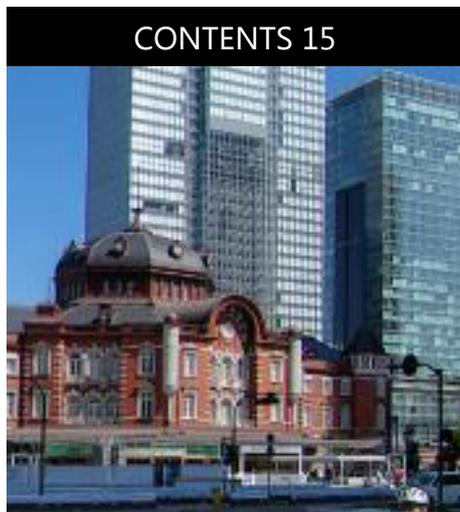
コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
△	◎	○	◎			○	○	◎	△	◎	
現代の六本木・虎の門の姿を中心に、未来図にも触れながら六本木・虎の門エリアを説明。			六本木・虎の門エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
現代の東京・日本 (六本木・虎の門エリア)	再開発事業	<ul style="list-style-type: none"> 六本木・虎の門エリアは今度どのように発展するのか <ul style="list-style-type: none"> 六本木再開発 虎の門再開発 など
	多様性のある街	<ul style="list-style-type: none"> 六本木・虎の門エリアの多様性とは <ul style="list-style-type: none"> 外資系企業の集積 外国人も楽しめる繁華街 美術館の文化施設、食文化の多様性 など
	ランドスケープ	<ul style="list-style-type: none"> 六本木・虎の門エリアの都市づくりの特徴とは <ul style="list-style-type: none"> Vertical Garden City (立体緑園都市) など

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒルズ街育プロジェクト (東京都港区) など

コンテンツイメージ15：大丸有エリア

大丸有エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 15

コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
△	◎	○	◎			○	○	◎	△	◎	
現代の大丸有の姿を中心に、未来図にも触れながら大丸有エリアを説明。			大丸有エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。				

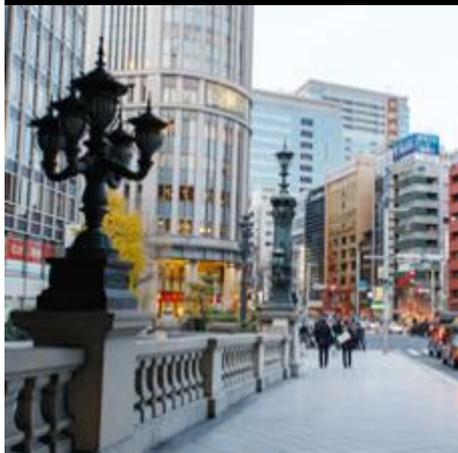
情報の内容		
大分類	中分類	小分類
現代の東京・日本 (大丸有エリア)	・ 東京の中心	<ul style="list-style-type: none"> 大丸有エリアの地理的特徴は何か 大丸有エリアのビジネス環境では、どのように働きやすいのか ➢ 皇居、東京駅、丸の内オフィス街 など
	・ エリアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 大丸有エリアの魅力を作るエリアマネジメントとは ➢ PPPとまちづくりガイドライン ➢ パブリックスペースの活用 など
	・ 環境性と防災性	<ul style="list-style-type: none"> 大丸有エリアの持続可能性とBCP対策とは ➢ エネルギーの面的ネットワーク

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3×3 Lab Future (東京都千代田区) など

コンテンツイメージ16：日本橋エリア

日本橋エリアの特徴をパネルやサインージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。

CONTENTS 16



コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
△	◎	○	◎	□	□	○	○	◎	△	◎
現代の日本橋の姿を中心に、未来図にも触れながら日本橋エリアを説明。			日本橋エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
現代の東京・日本 (日本橋エリア)	老舗の魅力と先進性	<ul style="list-style-type: none"> 日本橋エリアの魅力と今後の発展の姿とは <ul style="list-style-type: none"> 歴史的な街並み、多様な用途 東京国際金融センター構想 ライフサイエンスビジネス拠点の形成 など
	スマートシティ	<ul style="list-style-type: none"> 日本橋エリアのスマートな取り組みとは何か <ul style="list-style-type: none"> コジエネによる街区への電力供給 など
	日本橋の景観	<ul style="list-style-type: none"> 日本橋エリアの景観はどう変わるのか <ul style="list-style-type: none"> 日本橋の未来図 新たな水上交通 など

関連施設例

本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- 三井記念美術館（東京都中央区）など

コンテンツイメージ17：品川・田町エリア

品川・田町エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。

CONTENTS 17



コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
△	◎	○	◎			○	○	◎	△	◎
現代の品川・田町の姿を中心に、未来図にも触れながら品川・田町エリアを説明。			品川・田町エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
現代の東京・日本 (品川・田町エリア)	再開発	<ul style="list-style-type: none"> 品川・田町エリアはこれからどう発展するのか ➢ 品川駅～田町駅間の再開発 ➢ 品川インターシティ など
	ベイエリア	<ul style="list-style-type: none"> 品川・田町エリアのベイサイドはどんな場所なのか ➢ 天王洲アイル など
	新たな交通ハブ	<ul style="list-style-type: none"> 品川・田町エリアの交通アクセスはどう変わるのか ➢ 羽田空港へのアクセス ➢ リニアモーターカー など

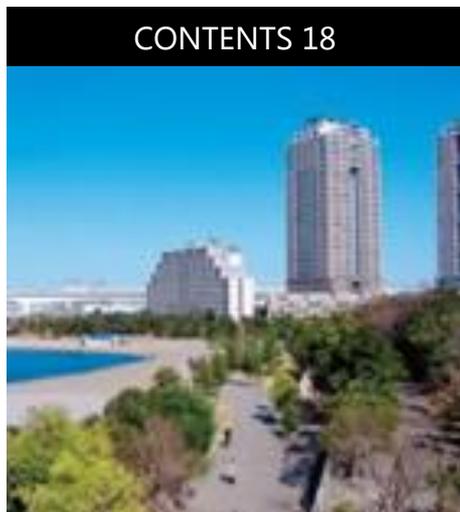
関連施設例

本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- 品川区立品川歴史館（東京都品川区）など

コンテンツイメージ18：臨海部エリア

臨海部エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。



CONTENTS 18

コンテンツ整理											
時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー				
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活	
△	◎	○	◎	□	□	○	○	◎	△	◎	
現代の臨海部の姿を中心に、未来図にも触れながら臨海部エリアを説明。			臨海部エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。				

情報の内容		
大分類	中分類	小分類
現代の東京・日本 (臨海部エリア)	東京2020大会	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック関連施設はどこに計画されるのか ➢ オリンピック関連の都市開発計画（競技施設、選手村、交通等） など
	豊洲市場	<ul style="list-style-type: none"> 新しい東京の台所はどのような場所なのか ➢ 築地市場から豊洲市場への移転 など
	MICE拠点	<ul style="list-style-type: none"> 東京で国際会議や展示会を開催するにはどこが良いのか ➢ 東京ビッグサイト等の巨大展示会場 など

関連施設例
<p>本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊洲市場（東京都江東区）など

コンテンツイメージ19：多摩エリア

多摩エリアの特徴をパネルやサイネージ等の媒体に表示。写真や動画、文章、データ、図面等を用いて紹介。

CONTENTS 19			コンテンツ整理										
			時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
			過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
			△	◎	○	◎	□	◎	○	○	◎	△	◎
			現代の多摩エリアの姿を中心に、未来図にも触れながら全国各地の日本の都市を説明。			多摩エリアを説明する。				エリアの不動産開発を見せながらも、そのエリアの人々の生活の特徴を見せる。			

情報の内容			関連施設例
大分類	中分類	小分類	
現代の東京・日本 (地方都市エリア)	<ul style="list-style-type: none"> 多摩エリア 	<ul style="list-style-type: none"> 東京の多摩エリアとはどのような場所なのか <ul style="list-style-type: none"> 東京にある自然 高尾山 秋川溪谷 温泉 など 	なし

コンテンツイメージ20：新交通・水素社会

東京の未来図として、水素自動車や、新型モビリティ、新交通システムなどを紹介

CONTENTS 20



コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
	△	◎	○	◎	○		◎	△	△	◎
<p>現在、すでに始まっている取組を含めて、未来の東京の姿を示す。</p>			<p>東京の取組を中心に日本全国の先端的取組を説明する。</p>				<p>インフラ技術を示しながらも、人々の生活がどのように快適になるかを示す。</p>			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
未来の東京	・ 新交通システム	<ul style="list-style-type: none"> 東京を目指す新しい交通システムとは ➢ 新型自動車/自動運転/BRT など
	・ 水素社会	<ul style="list-style-type: none"> 東京を目指す水素社会とは ➢ 水素自動車 ➢ 水素タウン ➢ CO2フリー水素 など
	・ その他	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自転車交通網 ➢ 新型水運（ウォータータクシー）など

関連施設例

本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- ・ TOYOTA MIRAI ショールーム（東京都港区）
- ・ MEGA WEB（東京都江東区）
- ・ 豊田市実証地区（愛知県豊田市）など

コンテンツイメージ21：スマートシティ・ロボット

サステナブルで先進的なIoTが導入されたスマートシティや、ロボットと共生する未来の都市の暮らしを紹介。

CONTENTS 21



コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
	△	◎	○	◎	○		◎	△	△	◎
<p>現在、すでに始まっている取組を含めて、未来の東京の姿を示す。</p>			<p>東京の取組を中心に日本全国の先端的取組を説明する。</p>				<p>インフラ技術を示しながらも、人々の生活がどのように快適になるかを示す。</p>			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
未来の東京	・ スマートシティ	<ul style="list-style-type: none"> 日本のスマートシティの特徴は何か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 電力融通、マイクログリッド、デマンドレスポンス ➢ IoTが導入された街 ➢ エコキュートによる電力需要調整 など
	・ ロボット	<ul style="list-style-type: none"> ロボットと共生する街とはどんな暮らしか <ul style="list-style-type: none"> ➢ ロボット、ドローン、人口知能を活用した街 など

関連施設例

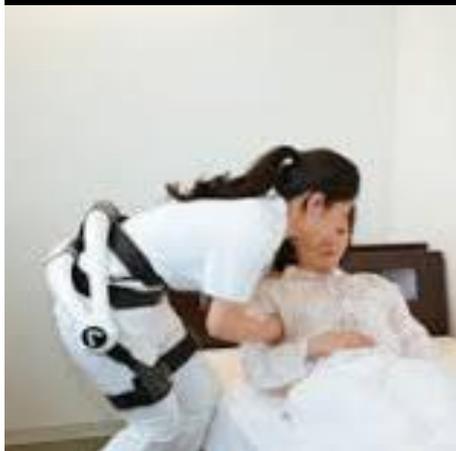
本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- ・ 柏の葉（千葉県柏市）
- ・ 藤沢SST（神奈川県藤沢市）
- ・ 京橋スマートコミュニティ（東京都中央区）
- ・ 東京ロボット産業支援プラザ（東京都江東区） など

コンテンツイメージ22：高齢化社会

超高齢社会を世界に先駆けて克服した、先進的な課題解決モデルを紹介

CONTENTS 22



コンテンツ整理

時間軸			地域軸				都市を構成するレイヤー			
過去	現在	未来	拠点	東京全体	日本全体	世界	インフラ技術	都市不動産開発	政策・制度	人々の生活
	△	◎	○	◎	○		◎	△	△	◎
<p>現在、すでに始まっている取組を含めて、未来の東京の姿を示す。</p>			<p>東京の取組を中心に日本全国の先端的取組を説明する。</p>				<p>インフラ技術を示しながらも、人々の生活がどのように快適になるかを示す。</p>			

情報の内容

大分類	中分類	小分類
未来の東京	ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 日本の都市の高齢化対策とは <ul style="list-style-type: none"> ▶ バリアフリー化 など
	コンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティの良さとは <ul style="list-style-type: none"> ▶ 職住遊近接の都市構造 など
	ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化対策のテクノロジーとは <ul style="list-style-type: none"> ▶ ロボットスーツ ▶ 医療、ヘルスケアのICT活用 など

関連施設例

本コンテンツに関する詳細は、下記施設にて見学できることを案内。

- 富山市のコンパクトシティ（富山県富山市）
- 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区（神奈川県横浜市、川崎市）など

3. コンテンツ（展示手法）の具体例

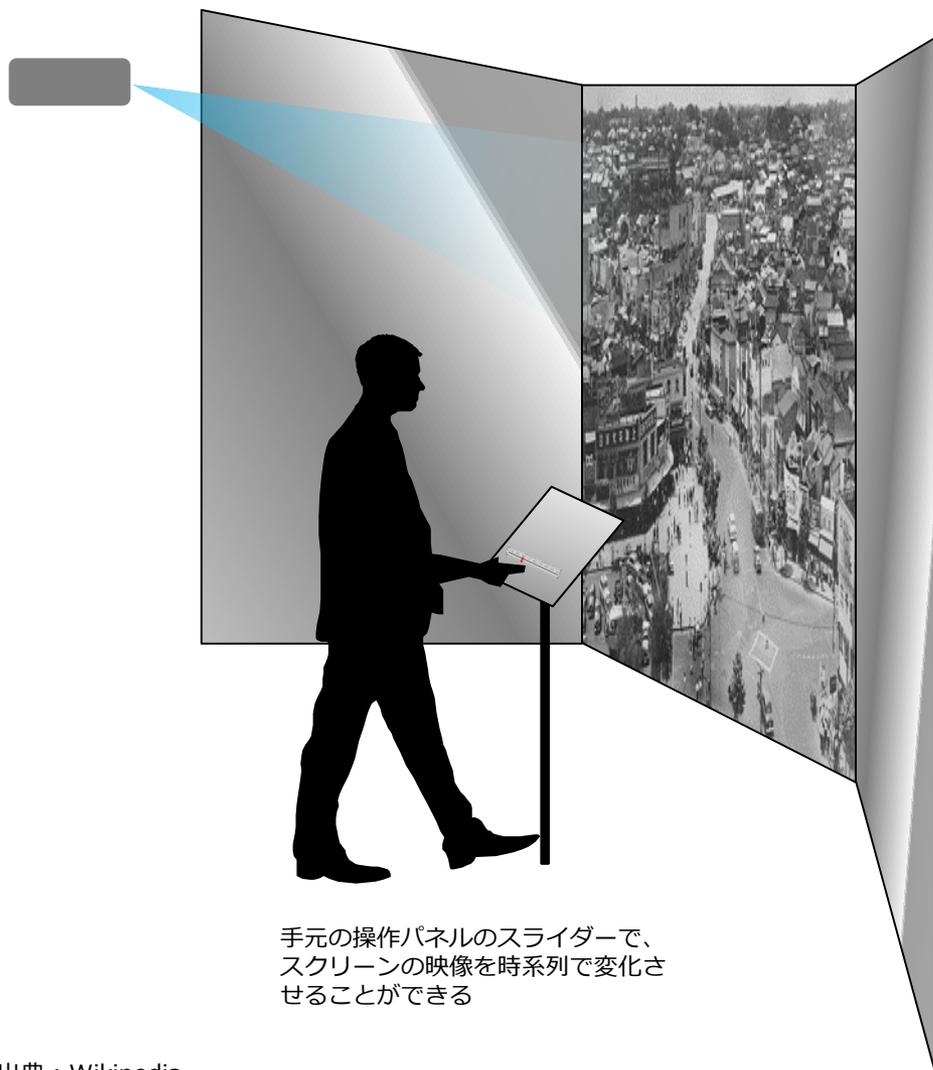
展示手法概要検討（コンテンツの情報と手法）

下記に展示手法の検討の概要を記載する。コンテンツ（情報の内容）別の視点と、全体で共通の視点に分け、それぞれ手法に求められるポイントを整理したうえで、それに合う具体的な手法の例を示す。

	手法に求められるポイント（例）		具体的手法（例）
コンテンツ（情報の内容）別の視点	<ul style="list-style-type: none"> 東京の歴史 都市化 	<ul style="list-style-type: none"> 過去から現在までの過程や変化を見せる 前後の対比、時系列などを説明する 	1  <ul style="list-style-type: none"> 地図や写真をオーバーレイ表示し、時系列で変化させる
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の東京（総合） 	<ul style="list-style-type: none"> 都市の全体像（地理的側面）を見せる 地理情報を重層的に見せる 	2  <ul style="list-style-type: none"> 都市模型のうえにプロジェクションマッピングを施す
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の東京（各拠点） 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の街の雰囲気や歩行者目線で疑似的に体験させる 	3  <ul style="list-style-type: none"> VRのヘッドセットを装着し、実際の各拠点を歩行する疑似体験を提供する
	<ul style="list-style-type: none"> 未来の東京 	<ul style="list-style-type: none"> 普段なかなか見ることのできない実機を展示し、試用させる 	4  <ul style="list-style-type: none"> 案内ロボット、ロボットスーツ、新型モビリティ、各種アプリケーション等の実機を展示する
共通の視点	<ul style="list-style-type: none"> カスタマイズ 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツを相手のニーズや、企業に合わせてカスタマイズ可能にする 	5  <ul style="list-style-type: none"> 様々なデジタルコンテンツを保有し、自由に選択して提供できるプラットフォームを整備する
	<ul style="list-style-type: none"> オープン 	<ul style="list-style-type: none"> 東京・日本の都市に関するコンテンツを外部から集めてキュレーションし、市民参加型の展示施設にする 	6  <ul style="list-style-type: none"> 東京の楽しさを紹介する短い動画や写真等を集め、来場者が誰でも閲覧可能にする
	<ul style="list-style-type: none"> アクティブラーニング 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で調べる体験を提供する（能動的学習） 	7  <ul style="list-style-type: none"> AIに質問して返答を受けるなどのインタラクティブな学習体験を提供する

手法の具体例 1（時系列で地図や写真を変化させる）

東京の歴史や都市化の過程を分かりやすくビジュアルに見せるための手法の一つの例として、時系列で、重ねられた地図や写真をオーバーレイで変化させることのできるプロジェクションマッピングの手法を用いる。



投影する映像の例



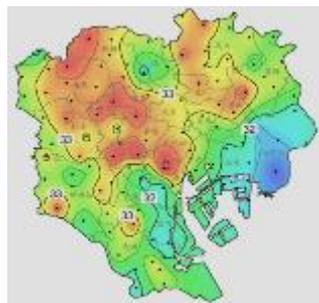
手法の具体例 2 (都市模型 & データ)

東京の都市模型のうえに、プロジェクションマッピングで様々な情報を重ねて、都市を多面的に見せる。重ねる情報は、例えば人口の分布などの統計情報（オープンデータ）や、電車の位置情報（リアルタイムデータ）などが考えられる。データと合わせて都市を俯瞰してみることで、都市の理解を深めることができる。

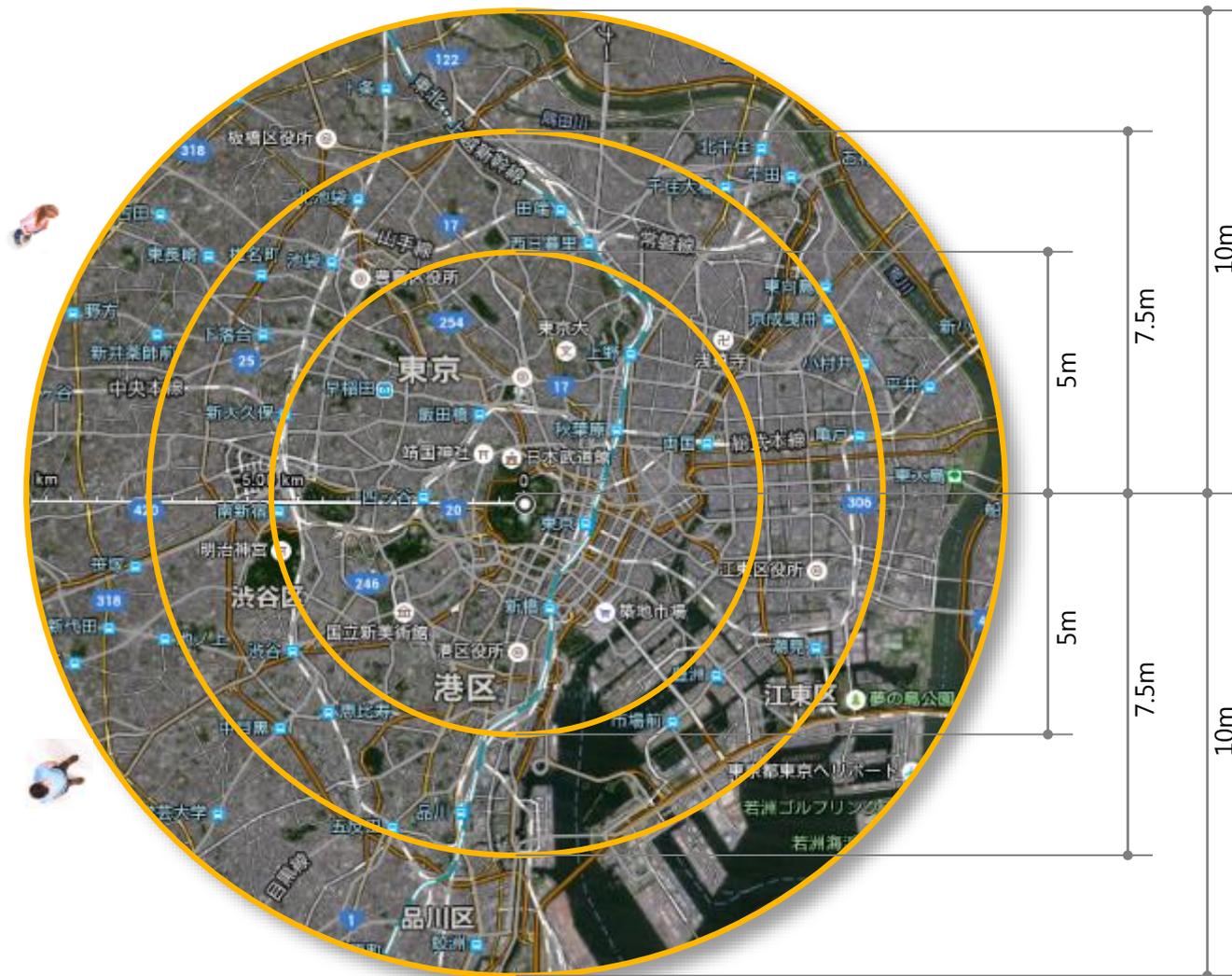
重ねる情報の例



人口分布



気温分布



東京の都市模型を、仮に皇居を中心として半径10kmを1/1000の縮尺で作成し設置する場合、直径20mを確保できる空間が必要である。
(現時点で都市模型の設置の是非や範囲等は決まっていない)

(参考) 都市模型

都市模型設置可能性を検討するため、参考として森ビル株式会社の都市模型の範囲と大きさを下記に示す。森ビル社が保有する東京の都市模型は、縮尺1/1000で制作されており、大きさが約17m×21m（面積：約250㎡）となっている。全ての建物の模型に外観のテクスチャーが貼られている。

森ビルの都市模型の範囲



手法の具体例 3 (VR端末による疑似体験)

東京の各拠点の様子をヘッドマウントディスプレイ等のVR技術を使い仮想的に体験させることで、その場所への興味を喚起することができる。シティ・フューチャー・ギャラリー (仮称) が、他の場所と連携し、各拠点 (サイトギャラリー等) へ送客をするというインデックス機能の実現に有効な技術であると考えられる。



360°撮影可能なカメラで街を歩きながら撮影した映像等を、ヘッドマウントディスプレイで見ることで、あたかもその街を実際に自分が歩いているような没入体験が可能になる。

渋谷交差点



他の来場者も、VRヘッドセット着用者の視点を画面で一緒に観覧できる。



地域冷暖房

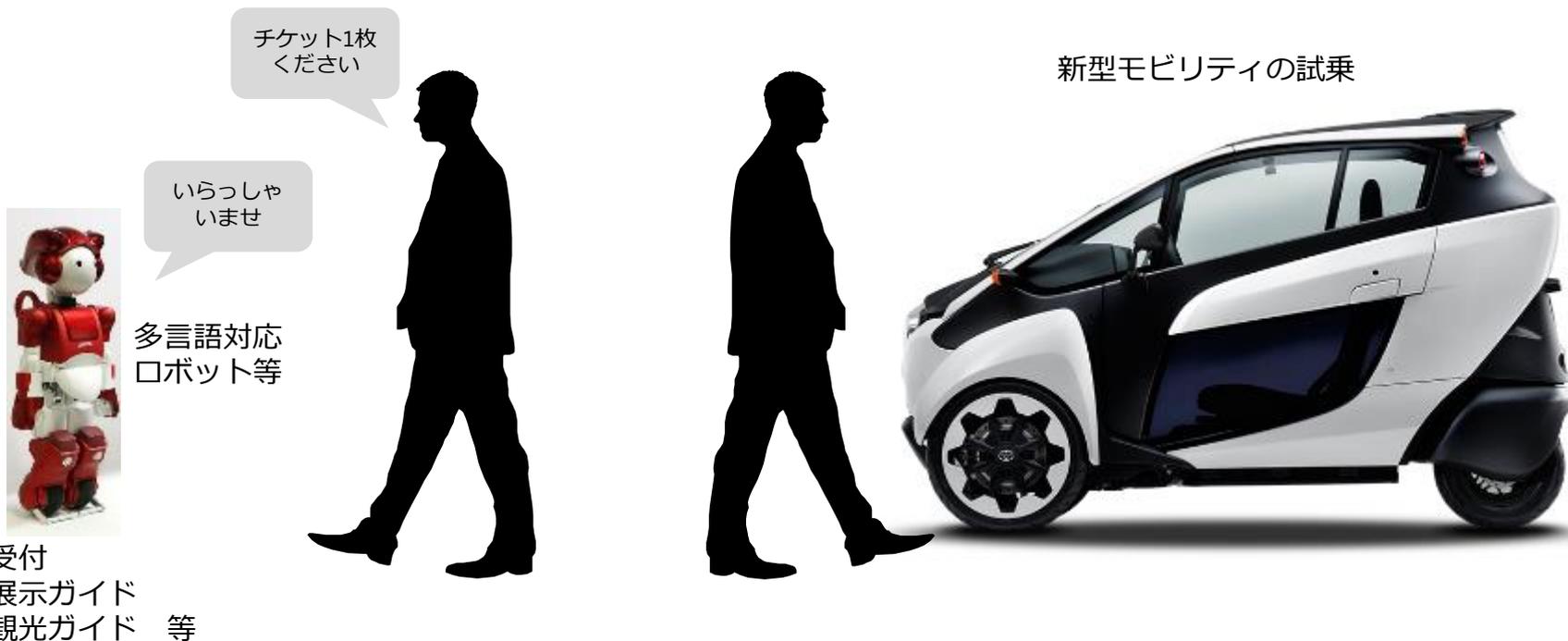


日本の都市の質の高いインフラなどの施設の内部を体験することも可能

参考) 米ゴールドマン・サックスはVR・AR関連機器の市場規模が2025年に最大1100億ドル (約12兆4千億円) と予測しており、本ギャラリーで先進的なVR技術の活用をすることで、同市場の世界展開へも波及効果があると考えられる。

手法の具体例 4 (実機展示 ～ロボット・新型モビリティ等)

未来の技術として、普段日常生活ではなかなか見ることのできない、実物のロボットや新型モビリティ等を展示する。本施設で先進的な技術を見せることで、同分野における日本の実力を示すことにつなげることも可能であるとする。

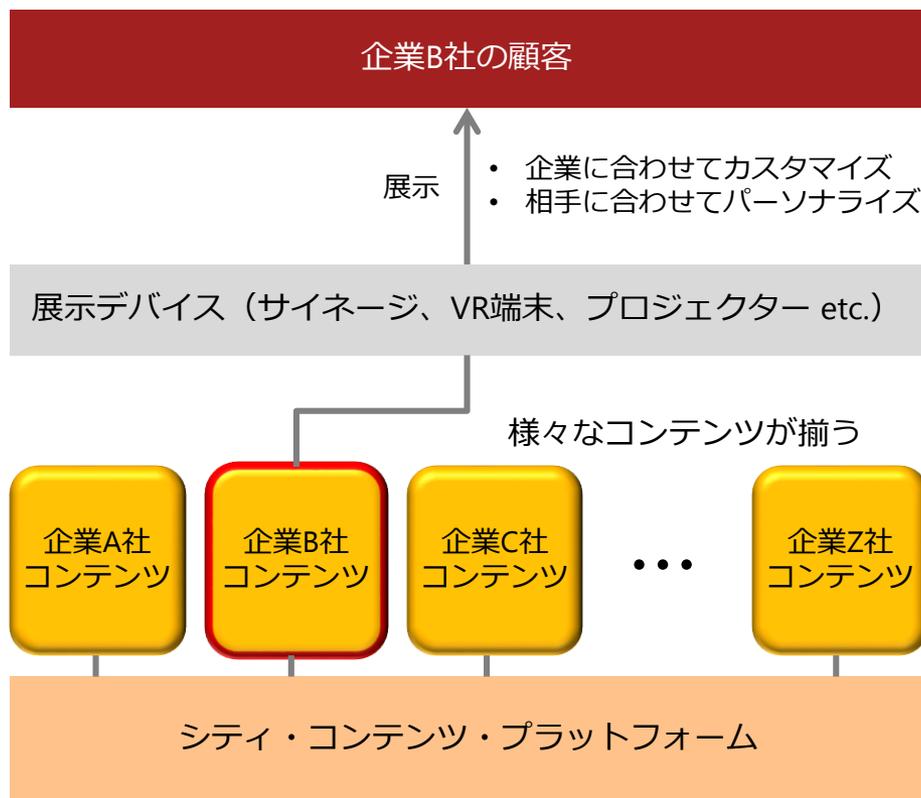


参考) 東京都は江東区に「東京ロボット産業支援プラザ」オープンさせた。中小企業のロボット産業参入を支援するための施設で、斜面にロボットを走らせて、安全性を確認する設備や、日常生活でロボットが支障なく動くかどうかをテストするため、コンビニエンスストアや住宅を模した設備を備えている。2020年を視野に入れてロボット活躍の場を広げるための支援を実施する。

手法の具体例 5 (コンテンツのカスタマイズ)

シティ・フューチャー・ギャラリー (仮称) では、ICTを活用することにより、様々なコンテンツをデジタルで保有し、相手に合わせてカスタマイズするなどの可変性を持たせることで、相手のニーズに合う展示を可能にする。

コンテンツのカスタマイズの概念図

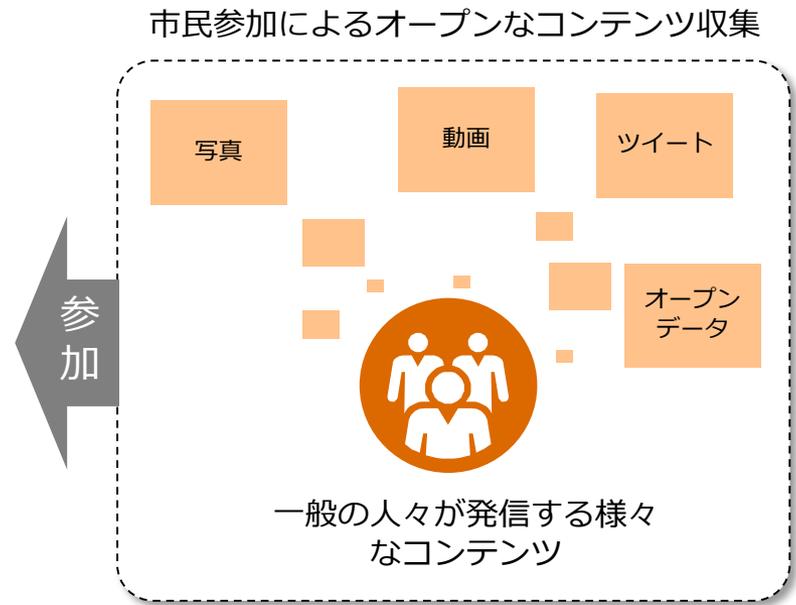


コンテンツのカスタマイズの例



手法の具体例 6 (オープン・市民参加によるコンテンツ収集)

シティ・フューチャー・ギャラリー (仮称) では、市民参加によりコンテンツが充実していくオープンな仕組みを取り入れる。例えば、市民が撮影した動画や写真などを集め、キュレーションしたものを来場者が閲覧できる方法などが考えられる。市民が主体的に参加することで、東京のシビックプライドの醸成につながることも期待できる。

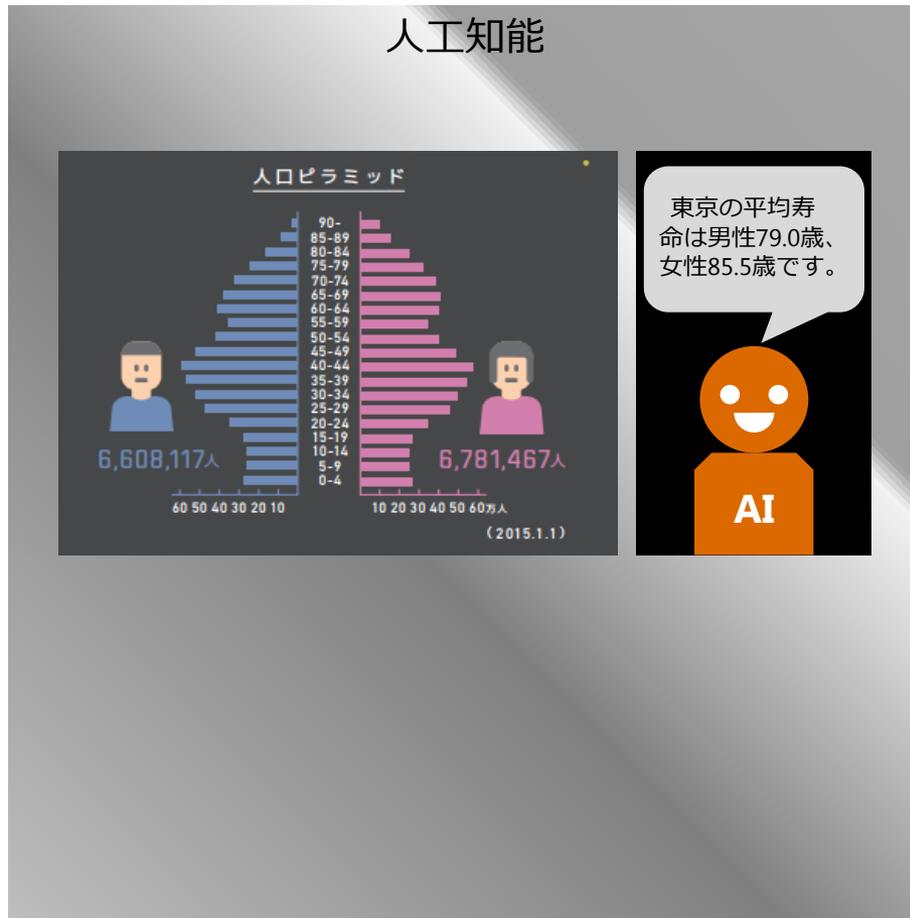


<写真共有の事例>

三菱地所は、フォトアプリ「Instagram」を利用し、一般の方が撮影した丸の内エリア (大手町・丸の内・有楽町地区) の写真を投稿し共有できる「Marunouchipix」という写真共有サイトを提供している。

手法の具体例 7 (アクティブラーニング)

展示されている内容からの学習だけではなく、個人個人で異なる知りたい内容についても、情報収集を行うことができる。AI (人工知能) のキャラクターに、質問を投げかけ、返答を得る。質問形式の対話とすることで、より能動的な学習が可能になる。



東京の人口ピラミッドを知りたい



AI (人工知能) のキャラクターに、興味のあることを質問し、返答を得る。関連するインフォグラフィクス等が表示され、質問者の理解を深める。

4. 展示手法事例

展示手法事例 -模型-

事例：オランダ建築博物館

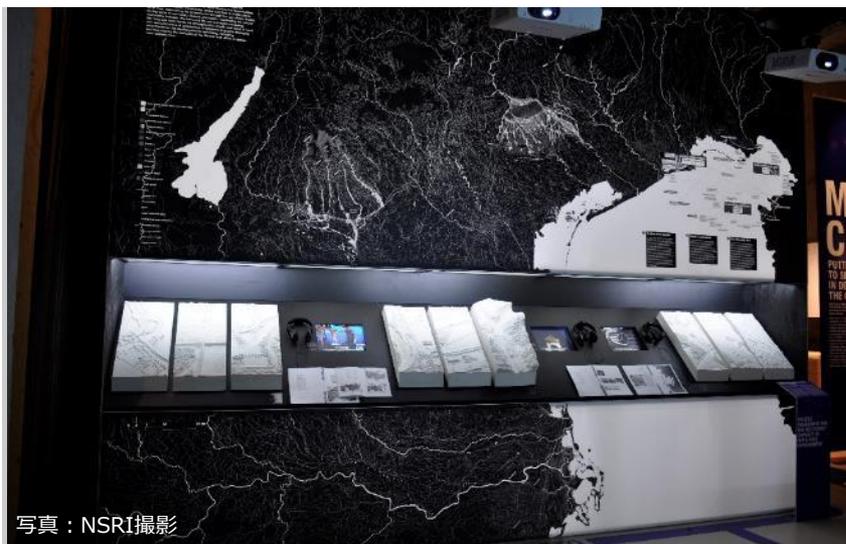
地域：ロッテルダム・オランダ

(特徴)

- 模型、パネル、映像、ドキュメント等、複数の手法の組合せ

(メリット)

- ユーザー自身がニーズに合った情報を選択し閲覧できる



事例：オランダ建築博物館

地域：ロッテルダム・オランダ

(特徴)

- 抽象的な大型模型への映像投影

(メリット)

- 抽象的なイメージを伝えやすくインパクトも強い



展示手法事例 -ディスプレイ映像-

事例：(中央駅上階の展示スペース)

地域：シュトゥットガルト・ドイツ

(特徴)

- レクチャー等にも対応可能なディスプレイスペース

(メリット)

- 通常時は観光客向けの映像を投影し、ビジネスユースの際はプレゼン資料なども投影可能



写真：NSRI撮影

事例：Crystal

地域：ロンドン・英国

(特徴)

- 閉じた空間内で、複数の面に跨った映像を投影

(メリット)

- 手元の表示モニターと連動させることでインタラクティブな展示を可能にし、また周囲を囲むことで来場者に没入感を与えることが可能になる



写真：The Crystal HPより

展示手法事例 - プロジェクションマッピング -

事例：FUTURE WORLD: WHERE ART MEETS SCIENCE

地域：シンガポール・マリーナベイサンズ

(特徴)

➢ 建物に投影した映像をスマートフォンで操作できる

(メリット)

➢ ダイナミックな体験を提供できる



写真：チームラボHPより

事例：War Museum

地域：マンチェスター・英国

(特徴)

➢ 壁面全体へのプロジェクションマッピング(15分毎のショー)

(メリット)

➢ 空間全体を使い、音響と組み合わせることでインパクトが大きい



写真：NSRI撮影

事例：アムステルダムミュージアム

地域：アムステルダム・オランダ

(特徴)

➢ 様々な形状のホワイトボックス・半球に多様な情報を投影

(メリット)

➢ 様々な関連情報を同時に伝えることができる



写真：NSRI撮影

展示手法事例 -実物展示-

事例：War Museum
地域：マンチェスター・英国

(特徴)

- 現物及び投影の組合せ

(メリット)

- 説明文や映像はプロジェクタで投影するため、ターゲットによって説明の深度を変更可能



写真：NSRI撮影

事例：(建設現場の展示スペース)

地域：デュッセルドルフ・ドイツ

(特徴)

- 建設現場に展示スペースを併設し、建設現場を展示物として見せる

(メリット)

- 建設が進むプロジェクトサイトにおいて、ビジネスパーソン等にPRする場を提供可能



写真：NSRI撮影

展示手法事例 -パネル-

事例：オランダ建築博物館

地域：ロッテルダム・オランダ

(特徴)

- テーマごとに展示パネルをクラスター化

(メリット)

- 芋蔓式に関連する情報が入手可能
- 展示用の壁を増設可能



写真：NSRI撮影

事例：Pavillon de l'Arsenal

地域：パリ・フランス

(特徴)

- コストの安い材料（紙のボード）への印刷と動画用ディスプレイ・模型等と同じ空間にミックスして配置

(メリット)

- 低コストで効果的な演出を実現



写真：Pavillon de l'Arsenal HPより